



会頭 加藤 捷男

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大第三波の中で年が明け、夏・秋には一日の新規感染者数が過去最大を記録した第五波に見舞われ、さらに年末年始には新たな変異株の拡大の懸念が広がりました。まさに、「コロナに始まりコロナに終わった」一年でありました。そうした中で、夏には東京オリピック・パラリンピック大会が開催され、地元のアーチェリー中村美樹選手をはじめ日本選手が大いに活躍され、また、大谷翔平選手や藤井聡太棋士の大活躍など、若い力に明るさを見出す一年でもありました。

経済の動向につきましては、政府の十二月の月例経済報告において、「持ち直しの動きがみられる」として緩やかな回復基調の判断にありますが、当地域では特に飲食、宿泊業において第五波の影響による売上低下が大きく、その他の業種でも、物流停滞や原材料高騰等により、先行きへの不透明感が増しております。加えて、今後本格化が見込まれるコロナ融資の返済が大きな課題であり、また、コロナ後を見据え、DX導入、SDGs、脱炭素化への対応といった新たな課題もあります。こうした課題を乗り越え、地域経済を再生していくためにはコロナ以前に「戻る」

のではなく、新しい環境に「進む」という意識が必要と言われております。変化に対応するための人材の育成・確保、ビジネスモデルの転換、新たな販路開拓など、具体的取組み課題は多岐にわたります。こうした課題の解決と活性化に向け、行政の更なる力強い政策支援をお願いいたします。今後、コロナ禍を克服していくためには、地域ぐるみの地方創生推進による地域の活力回復も求められます。こうした困難な時こそ、原点に立ち返り地域の本当の資源、文化を再発掘しつつ新たな再生の道を探っていくことが、最良の道であるように思います。

鶴岡商工会議所としても、地域の歴史・文化を知りその魅力を高める取組みや、食文化、生命科学など当地域の可能性あふれる資源を伸ばす取組みを関係機関と連携して更に進めるとともに、その基盤となる高速交通インフラである日沿道の早期開通、庄内空港の機能性・利便性の拡大などに向けた取組みに努めて参ります。

コロナ禍の困難な時代を越え、これから先、子や孫の生きる社会の在るべき姿に改めて想いを致し、酒井家庄内入部四百年の本年が、希望に満ちた新たな未来を拓く挑戦の年となるよう願ってやみません。

令和4年度 鶴岡市への要望事項



I. 新型コロナウイルス感染症による影響への積極的な対応について

- 1. 市内事業所の存続・雇用の維持に向けた対策の強化及び地域経済の早期回復に向けた事業の展開について
(1) 状況の変化に応じて、対象等を拡大した融資制度、補助金等の拡充・継続
(2) コロナ関係融資返済に対する条件緩和及び利子補給等の充実
(3) 新たな商品券発行等、地域内の消費・観光等を喚起する事業の拡充
(4) 新しい生活様式に基づく事業展開、働き方の見直しへの支援
(5) ワクチンの職域接種、中小企業の共同接種を確実に実施する環境整備と支援の強化
(6) 各種支援施策に関する情報の適切な提供

★2. コロナ後を見据えた販路開拓・地域内取引の活性化及び観光誘客に係る施策の拡充について

- (1) コロナ後の地域経済回復に向けた政策・道筋の明確化
(2) コロナ後を見据えた首都圏等への観光・物産情報発信の拡充
(3) コロナ後に向けた観光データ、マーケティング調査、情報提供の拡充
(4) ふるさと納税を活用した販路開拓の推進
(5) 展示会、商談会への参加に対する支援拡充
(6) 地域内取引の活性化、異業種交流に係る施策の拡充
(7) コロナ後の変化に対応した地域企業のDX導入支援

IV. 中心市街地の活性化

1. 第2期中心市街地活性化基本計画に基づく事業の推進について

- (1) 南銀座通り、一日市通り及び川端通りの一方通行解除及びこれに向けた道路整備の促進
(2) まちなか居住事業の促進
(3) 空き家・空き店舗対策の強化
(4) 城址公園としての鶴岡公園整備計画の策定及びその推進
(5) 鶴岡公園から中心商店街に至る道路及び内川周辺の整備など、城下町としての趣き・風情を大事にした景観の形成
(6) カラスの糞害対策の強化

2. 中心市街地の居住、事務所機能の集積等に資する民間事業の活性化について

- (1) 民間事業による居住、事務所機能の集積等に資する支援の創設
(2) 土地の高度利用・景観形成に向けた調査研究
(3) 都市計画高度地区における高さ制限の緩和

★3. 第3期中心市街地活性化基本計画の策定について(新設)

- (1) 中心市街地の魅力を高め、人が集まるための具体的な戦略計画の策定



市議会への要望書提出



鶴岡市への要望書提出

II. 人口減少、少子高齢化対策の推進

- 1. 地域の産業経済を支える労働力の確保について
(1) 高校生・高専生、山形大学農学部、東北公益文科大学等の学生の地元企業への就職の促進
(2) 大学進学者及びU・J・ターン希望者の地元企業への就職の促進
(3) 三つおかエール奨学金返済支援制度の周知PRの促進と対応財源確保
(4) 庄内地方における鶴岡工業高校等実業学校及び総合学科の維持・存続
(5) 東北公益文科大学の早期公立化の促進
(6) 製造業・建設業等における生産性向上・省人化に向けての設備投資に対する支援の拡充
(7) 外国人労働者の受入環境の整備

V. 産業の振興

1. 会議所活動への支援拡充について

- (1) 経営発達支援計画に基づく新規創業、事業継続、事業承継に係る事業の支援強化
(2) 中小企業相談所補助金の増額
(3) 新型コロナウイルス感染症対応事業への支援



と議出選元との意見交換会

2. 国・県及び市の支援施策の適切な情報提供について

- (1) 各種支援施策に関する情報の適切な提供及び総合的ガイドブックの製作
(2) 商工関係団体、金融機関等との情報共有及び連携強化
(3) 産業・経済等に関する統計資料の適切な更新及び提供

3. 工業関係に係る基盤の拡充について

- (1) 用地取得、設備投資に係る固定資産税の減免及び補助制度の拡充
(2) 企業誘致及び既存企業の設備投資・生産計画の拡大を促進するための工業団地の整備
(3) 早期の事業展開、イニシャルコスト低減に資する貸工場の整備

- 2. 産業人材・若手人材の育成について
(1) 庄内地域産業振興センターにおける産業人材育成機能の拡充
(2) 女性・高齢者のスキルアップに対する支援の拡充
(3) 小中学生が地域の産業・経済を知る教育及び科学・ものづくりへの関心を高める教育の拡充

3. 少子化対策の拡充について

- (1) 婚活事業の拡充
(2) U・J・ターン希望者への情報提供及び支援の拡充
(3) 子育て世代がより労働しやすい環境の整備

III. 社会資本の整備促進

- 1. 日本海沿岸東北自動車道の整備促進について
(1) 早期完成に向けた要望活動の強化
(2) 鶴岡ジャンクションのフルジャンクション化
2. 東北横断自動車道酒田線の整備促進について
3. 市内の交通網の整備促進及び安心・安全性の向上について
(1) 鶴岡東バイパスの四車線化の早期完成
(2) 県道羽黒橋加茂線の早期完成
(3) 道形黄金線の早期整備
(4) 七日町通りの道路改良の早期完了
(5) 交差点改良の促進
(6) 橋梁及び側溝整備の促進

4. 先端生命科学分野における産業集積及び産学官連携の促進について

- (1) 生命科学分野における今後の経済活性化戦略の明確化
(2) 生命科学分野における研究及び産業集積への支援の強化
(3) 研究教育機関発のベンチャー企業育成の取組み強化
(4) 研究教育機関のシーズと企業ニーズとのマッチングの強化
(5) 地域企業とベンチャー企業との情報交換・共同研究・開発の促進
(6) 庄内中高一貫校(仮称)における生命科学分野の人材育成に向けたカリキュラムの導入検討

5. 食文化創造都市の推進について

- (1) 食文化創造都市による今後の経済活性化戦略の明確化
(2) 食のブランド化とこれに基づく情報発信、販路開拓の推進
(3) 地域の農林水産物を活用した新製品の開発支援の拡充
(4) 東アジア等に向けた輸出の推進

6. TMO事業への支援強化について

- (1) チャレンジショップ事業への支援強化
(2) 若手後継者の育成及びその活動への支援
(3) 中心商店街への観光客誘導に資する事業への支援強化
(4) 商店街組合の活動強化を図るための組合間連携への支援

7. まちなか観光の推進について

- (1) 城址公園としての鶴岡公園整備計画の策定及びその推進(再掲)
(2) 鶴岡公園から中心商店街に至る道路及び内川周辺の整備など城下町としての趣き・風情を大事にした景観の形成(再掲)

4. 庄内空港の利用回復及び機能拡充について

- (1) 運賃の割引など、利用回復・利用拡大につながる助成制度の拡充
(2) 庄内空港利用振興協議会が行う誘客事業等への支援の拡大
(3) 年間搭乗者50万人を目標としたアクションプランの策定及び取組みの強化
(4) 中型機による運航の拡充、運航ダイヤの改善及び5便化に向けた活動の強化
(5) 滑走路延長に向けた調査及び国庫補助採択に向けた要望・活動の強化
(6) 搭乗者の拡大に対応した搭乗手続き、手荷物の受取り、待合室及び駐車場機能の拡充
(7) 国際チャーター便の誘致拡充及びこれに対応した施設の拡充

5. 羽越本線の高速化及び定時運行、羽越新幹線の整備促進について

- (1) 速達型特急の創設などによる高速化の推進
(2) 安全・安定輸送に向けた施設整備の促進
(3) 羽越新幹線整備に向けた運動の強化

6. 災害に強い都市基盤の整備について

- (1) 河川改修の促進及び雨水対策の強化
(2) 上下水道の耐震化の推進
(3) 降雨量、河川の水位、道路・交通状況など、きめ細やかな情報の提供

8. DMOを核とした観光の推進について

- (3) 観光施設の機能拡充・イベントの開催等に対する支援の拡充
(4) 天神祭及び「庄内大祭」の拡充
(5) 鶴岡お祭りウィーク(赤川花火大会、おひやき祭)の拡充
(2) 鶴岡公園の桜、赤川花火大会等をテーマとした着地型旅行商品の造成
(1) 出羽三山、鶴岡シルク、城下町、食文化をテーマとした着地型旅行商品及び体験観光プログラムの造成

9. 酒井家庄内入部400年を記念した事業の展開について

- (1) 酒井家庄内入部400年に向けた市民の気運醸成
(2) 民間団体等による記念事業への支援施策の拡充
(3) 記念事業としてのプレミアム付商品券等の発行

10. 公共事業の確保及び改善について

- (1) 将来的に安定した公共事業費の確保
(2) PFI等による公共事業に係る検討会の設置
(3) 国発注工事に係る地元企業の受注機会の拡大
(4) 入札制度及び格付け基準の見直し
(5) 適正な工期及び工事金額の設定



★…新規又は見直し事項